

核のない平和な世界をみんなで作る

～被団協ノーベル平和賞受賞までの歩みとこれから～

お話 和田 征子さん

(日本被団協 事務局次長)

1歳10カ月の時、長崎市の爆心地から2・9キロ離れた自宅で被爆。自身の記憶はないものの、母から体験を聞いて育ち、証言を語り継ぐ。約40年間にわたって被団協で活動



渡辺 里香さん

(ピースボート 国際コーディネーター)

広島・長崎の被爆者とともに世界を回り核兵器の非人道性を伝える「おりづるプロジェクト」で被爆者の証言通訳を担当。2020年以降は、ピースボートのオンライン被爆証言会で57カ国、3,600名以上に被爆の実相を伝えている(2023年7月時点)



5月10日 (土)

入場料 無料

定員400名 全席自由

14:00～16:30 (13:30開場)

大田区民ホール・アプリコ 展示室 (地下)
JR 蒲田駅東口徒歩 3分

共催 東京南部法律事務所 城南保健生活協同組合

協賛 大友会 (大田/原爆被害者協議会)
原水爆禁止大田区協議会



連絡先 東京南部法律事務所 TEL 03-3736-1141